

美鳩小学校校舎等整備基本設計

平成30年（2018年）1月

中野区教育委員会事務局子ども教育施設分野

1 施設配置等

(1) 施設配置

配置図、平面図、断面図のとおり

(2) 施設概要

- 階 数 地上3階
- 構 造 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造
- 敷地面積 約 10,885 m²
- 延べ面積 約 9,913 m²
 - ・ 小学校（図書館除く） 約 9,075 m²
 - ・ 地域開放型学校図書館 約 337 m²
 - ・ キッズ・プラザ 約 501 m²
- 校庭面積 約 3,200 m²

(3) 建築条件等

項目	内容
所在地	東京都中野区大和町四丁目26番
敷地面積	10,885.0m ²
前面道路	北側：道路幅員4.0m 西側：道路幅員4.0m 南側：道路幅員5.0m 東側：道路幅員5.4m
用途地域	第一種低層住居専用地域
防火指定	準防火地域・ 新防火地域（東京都建築安全条例第7条の3第1項）
指定容積率	150%
指定建ぺい率	60%
高度地区	第二種高度地区
高さの最高限度	10m
道路斜線	20m 1.25
日影規制	範囲5m～ 4.0h 範囲10m～ 2.5h 測定水平面 1.5m

2 基本設計の視点

(1) 小学校

ア 校舎

- 校舎や校庭を一体的に使用していく新たな教育環境として、上履きを使用しない「一足制」での運用による校舎を整備
- 教室の寸法を変更することにより、各学年の教室間に多目的スペースを整備
- 一体的に整備する図書室・コンピュータ室について、1階の昇降口横に配置することにより、児童が利用しやすい環境を整備
- 多様な学習形態や教育活動に対応できる環境を整備
- 地域との連携を進める機能や、教員間の研鑽や交流を促す機能を整備
- 教育空間の拡張や環境負荷の軽減等に有効なバルコニーを整備
- エレベーターや多目的トイレは、ストレッチャーやリクライニング車椅子利用者にも配慮のうえ整備
- 全校集会等の学校行事や災害時における避難所機能等、一度に多くの利用者が見込まれる屋内運動場において、快適・安心・安全な環境を確保するため、出入口を広く整備
- 廊下に設けた吹き抜けにより採光を確保し、上下階のつながりも創出

イ 校庭

- 一足制による運用を踏まえ、校舎内に校庭の砂塵等を持ち込むことのない材質により、表層部を整備
- 運動会の観覧スペースとしての活用も想定したバルコニーを整備
- 校庭として、スペースを最大限活用できるよう配慮のうえ、防球フェンスを設置

ウ 外構計画

- 児童の体力や運動技能の向上に資する設備を、校庭でのボール運動等の実施に支障とならないよう配置
- ビオトープや飼育小屋を活用した児童の憩いの場を整備
- 緑化面積の確保にあたり、新校としての新たな樹木を植栽のうえ整備
- 妙正寺川沿いの地理的特性から、浸水対策も考慮のうえ整備

(2) 地域開放型学校図書館

- 地域開放型学校図書館と学校の出入口を明確に分離するとともに、キッズ・プラザとの効果的な連携も踏まえ、配置・動線計画を整理
- 地域開放エリアには約5,000冊（児童書1,000冊、絵本2,000冊、一般書2,000冊）の蔵書を確保のうえ、10席程度の閲覧席を確保

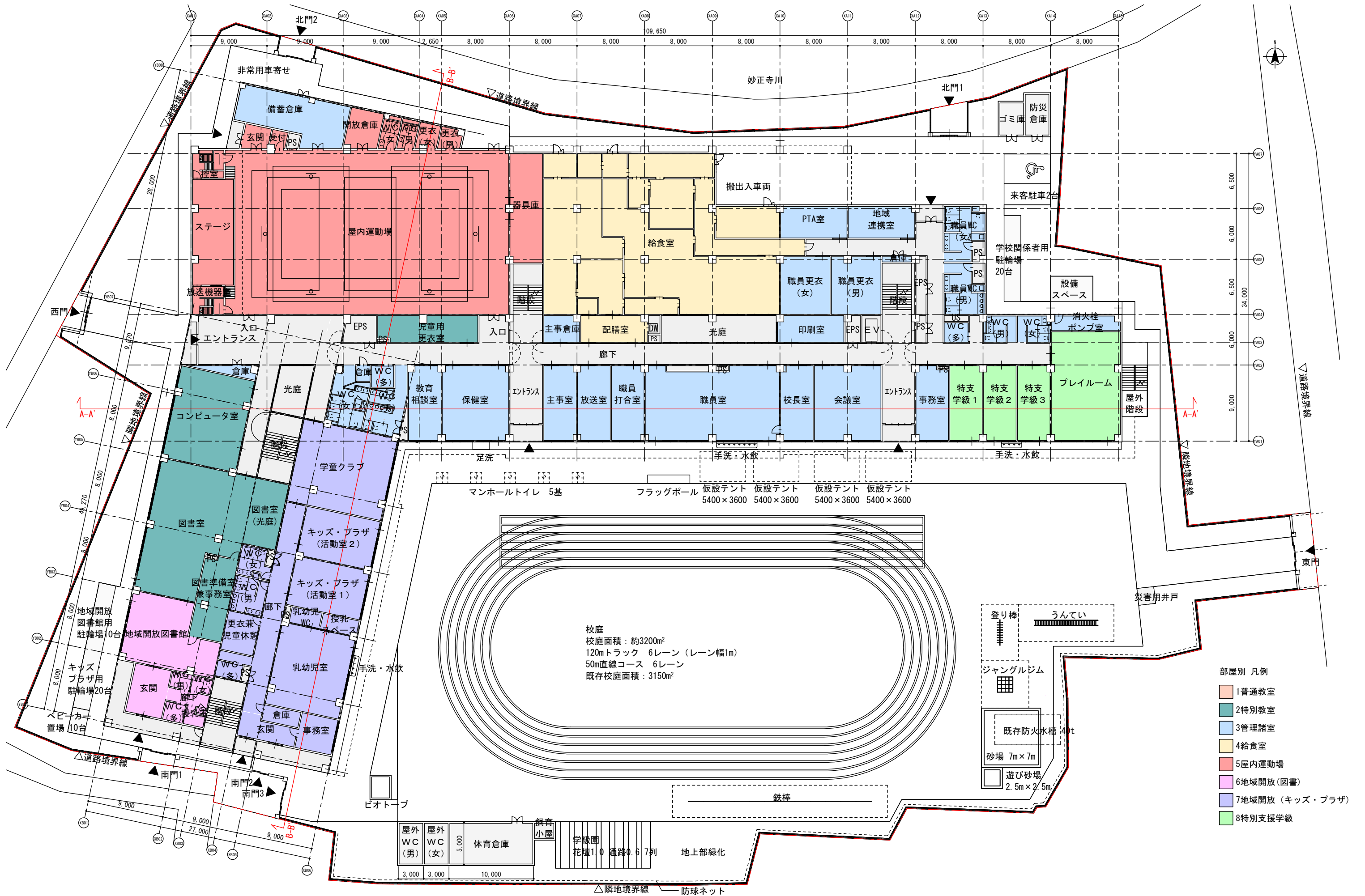
- 区立図書館と学校図書館との統合システムの導入と、指定管理者が配置する学校図書館指導員との連携による一体的運用環境の整備

(3) キッズ・プラザ

- キッズ・プラザと学校の出入口を明確に分離するとともに、地域開放型学校図書館との効果的な連携も踏まえ、配置・動線計画を整理
- 乳幼児室、学童クラブ室は下足を脱ぐ空間として整備
- 屋内運動場、校庭を利用しやすいよう配置・動線計画を整理

(4) その他（防災拠点としての機能、環境への配慮）

- 避難所としての機能を踏まえ、備蓄倉庫や防災倉庫のほか、マンホールトイレ、災害用井戸、ヘリサインを整備
- プールの水は地域の消防水利として利用するほか、マンホールトイレの洗浄水としても活用できるよう整備
- 平常時のほか、災害時の電源としても活用しうる太陽光発電装置を整備



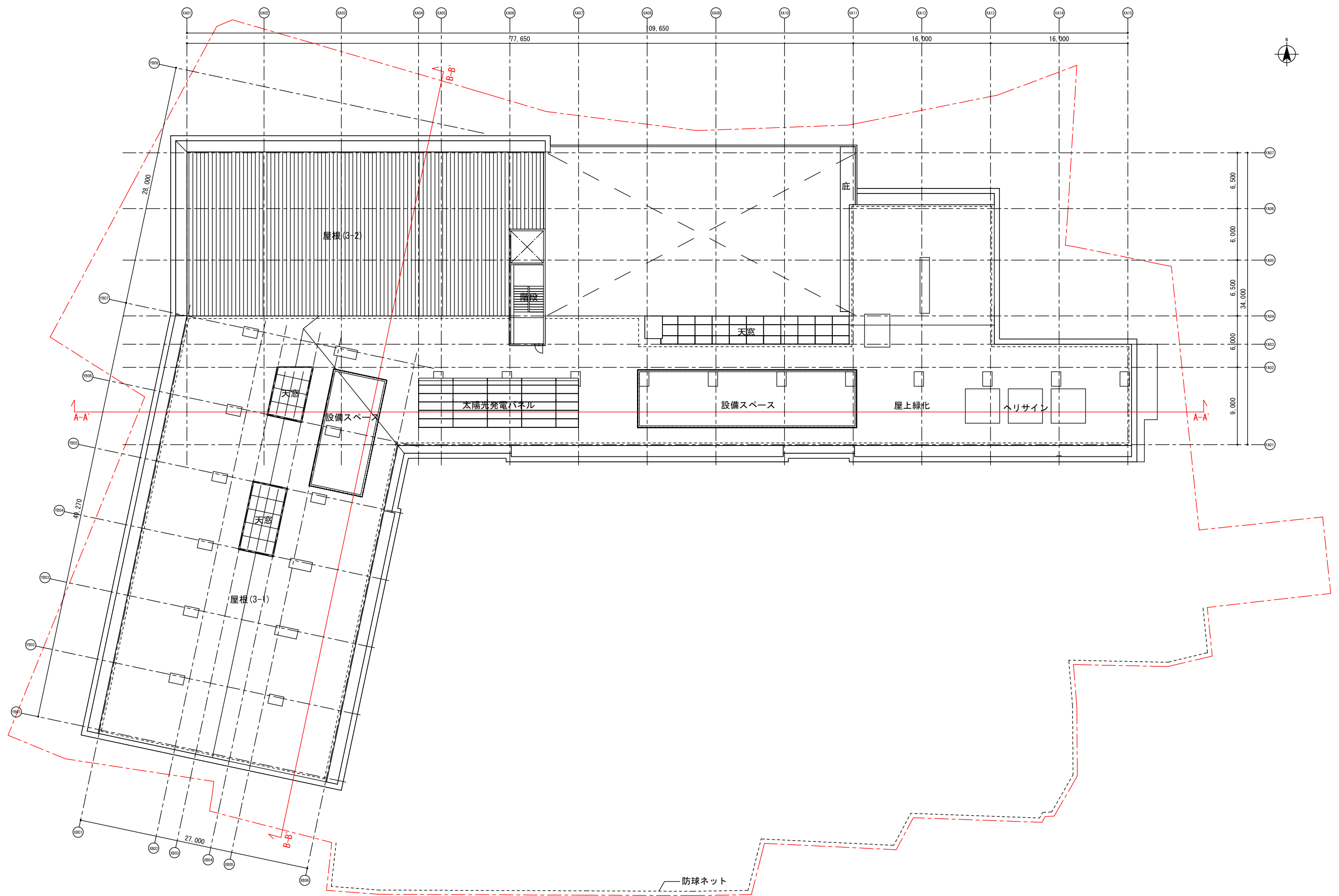
美鳩小学校校舎等整備基本設計

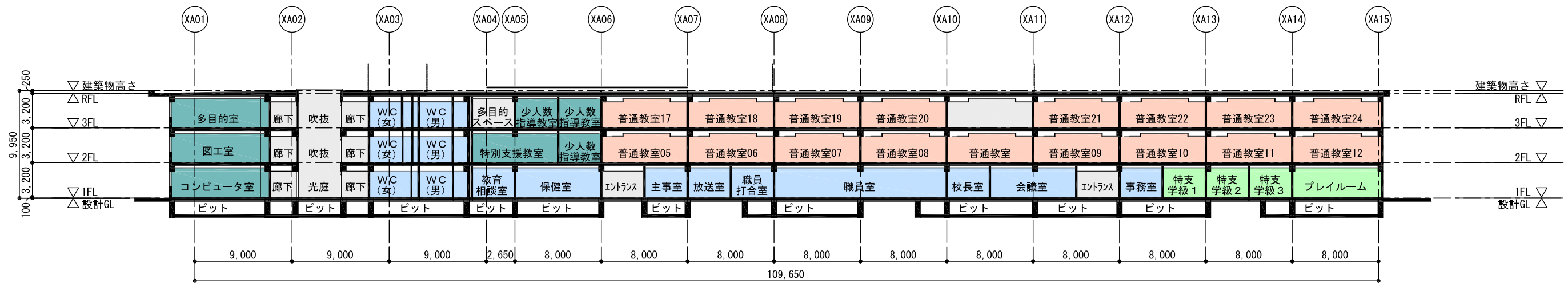
配置図、1階平面図

SCALE A3 = 400

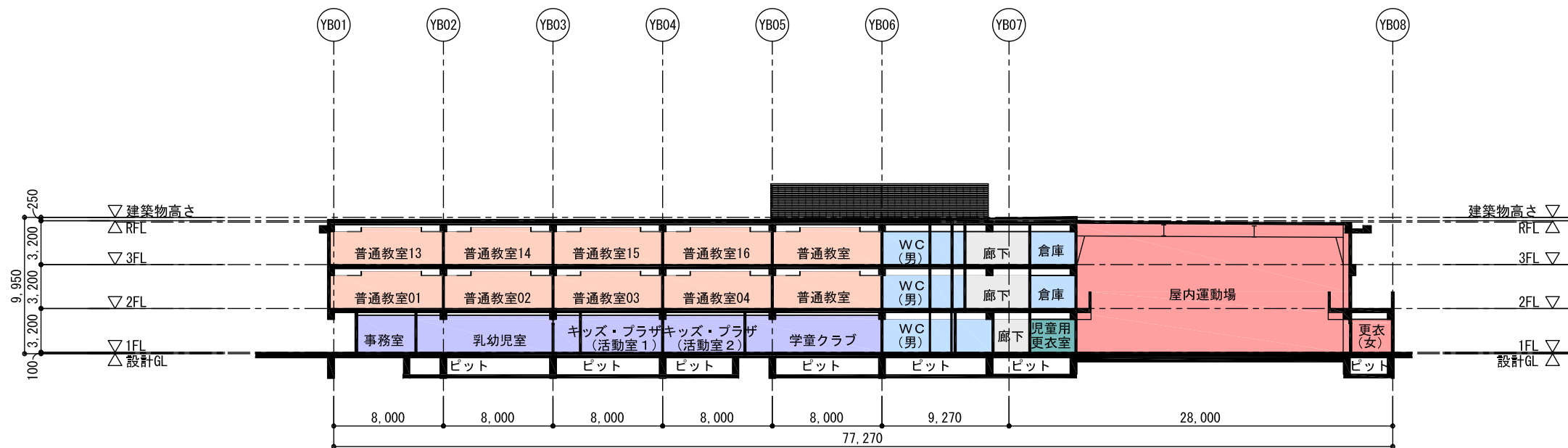








A-A' 断面図



B-B' 断面図